

京都府舞鶴市・福知山市の台風 18 号、21 号による大雨被害調査

9 月 11 日に鹿児島県南九州市に上陸した台風 18 号、10 月 23 日に静岡県御前崎市に上陸した台風 21 号で被災した京都府北部の舞鶴市・福知山市に 11 月 10 日に災害調査に伺いました。

【舞鶴市】

最初に訪れたのが舞鶴市です。まず、京都府の野村中丹振興局長、小林中丹東土木事務所長、木村中丹西土木事務所長、大滝港湾局副局長、舞鶴市の堤副市長、小島上下水道部長から、台風 21 号による被災状況について、地元の池田府議とともに概要説明を受けました。



その後、京都府建設業協会の森下舞鶴支部長のご案内で、浸水被害の大きかった西舞鶴の高野川沿川に伺い、小関舞鶴市議に被災現場のご説明をいただきました。



舞鶴市では、合計 337mm の雨により、高野川沿川で床上浸水が 136 戸、床下浸水が 367 戸と大きな被害を受けており、現地では一階の畳や床板をあげて、扇風機などを使って床下を乾燥させているようなお宅もありました。海に近い中小河川の治水対策の難しさを改めて感じました。

続いて、舞鶴市の志高地区に伺いました。平成 16 年の台風 23 号による洪水によって、バスの屋根の上に 30 数人取り残された地区ですが、その後の整備で輪中堤防が完成して浸水被害は大幅に軽減されていました。整備効果を改めて実感することができました。



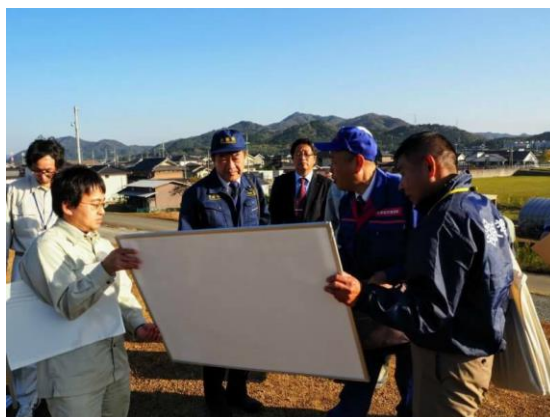
【福知山市】

引き続き、福知山市の被災現場に伺いました。現場を案内いただいたのは京都府建設業協会の米田福知山支部長で、現場では国土交通省の久内福知山河川国道事務所長、福知山市の蘆田土木建設部長をはじめとするメンバーからご説明をいただきました。

最初に訪れたのは、由良川沿川の戸田地区です。平成16年、平成25年に続いて浸水被害を生じましたが、堤防等の整備効果があって今回は被害が大幅に軽減されていました。

続いて、対岸の私市地区に伺いましたが、この地区でも堤防や樋門の整備が進んでおり、被害は大きく軽減されていました。一方、その下流の川北地区では堤防が現在も未整備であり、大きな浸水被害が発生していました。

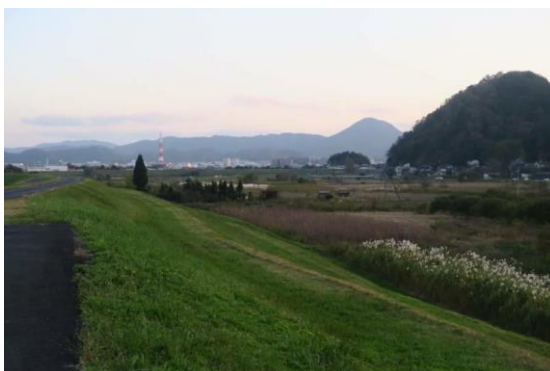
次に、少し下流の天津地区に伺い、水防災事業で宅地かさ上げを行っている現地を見させていただきました。まさに、ジャッキアップによりかさ上げ中の家屋があり、その家屋は浸水被害を免れていました



が、未整備の家屋は残念ながら被災していました。

やはり、しっかり整備したところは格段に整備効果が上がっていることは明らかであり、着実にさらにはスピード感を持って整備を進めて行くことが大事だと改めて感じました。

最後に、荒河地区の排水機場に伺いました。平成 26 年 8 月の豪雨災害で福知山の中心市街地を流れる弘法川が溢れて 3000 戸を超える浸水家屋を生じるなど甚大な被害を発生しましたが、弘法川・法川床上浸水対策特別緊急事業で、河川の拡幅や河床掘削、調節池の設置、ポンプ場の整備など各種対策が急ピッチで実施中でした。自治体施工としては異例の大きさの調節池に驚きました。



なお、夕方には、福知山市の伊藤副市長、蘆田土木建設部長、国土交通省の久内福知山河川国道事務所長、米田支部長をはじめ京都府建設業協会から京都北部の 5 支部長にご出席をいただき、災害時の建設業界の対応のあり方、入札時の地域要件や実績の取り扱いなどについて、意見交換を行いました。



災害時に連携して対応する関係者があらかじめ一同に会して意見交換を行い、顔のわかる関係をつくっておくことはとても大事なことだと思います。私も協力させていただきますので、ぜひ、他の地域でもこうした取り組みを進めていただきたいと思います。